

渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会 設立趣旨

渡良瀬遊水地エリアは、平成24年7月3日にラムサール条約湿地登録された渡良瀬遊水地に、渡良瀬川、思川、巴波川の3河川が流入し、約4km下流で利根川に合流する、水とみどりに恵まれた良好な自然環境が形成されたエコロジカル・ネットワークの核となっています。また、各主体が役割を分担しながら、エコロジカル・ネットワークを更に広げていく取組を進めています。

このことは即ち、私たちの生活を支える生態系サービスの維持・向上をもたらし、自然が有する多面的な機能を楽しむ地域の創造につながるものです。豊かな生態系の指標として、水辺生態系の高次消費者であるトキやコウノトリなどに着目した多様な生物の生息可能な環境を保全・再生するとともに、環境と経済の調和を図った地域振興・経済活性化に取り組むことにより、広域連携による人と人との絆を深め、安全・安心できる地域の自立的な発展に貢献することが可能となります。

このため、渡良瀬遊水地エリアにおいて、多様な主体が協働・連携し、トキやコウノトリなどを指標とした河川（渡良瀬遊水地を含む）及び周辺地域で、多様な生物の生息可能な自然環境の保全・再生方策を推進し、賑わいのある地域振興・経済活性化方策に取り組むとともに、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成による魅力的な地域づくりを実現することを目的として「渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会」を設立します。